



【学校教育目標】 自分の夢に向かってたくましく生きる児童を育てる

めざす子供の姿

【相手の話をしっかり聞く子供】

- 相手の話をしっかり聞いて考える子供
- 相手のよいところに目を向けようとする子供
- 多様な考えに触れながら相手を認めようとする子供

【進んで自分の考えを表し、行動する子供】

- 自分から元気よくあいさつし、場に応じた言葉を使える子供
- 自分の考えを大事にし、分かりやすく表現する子供
- 情報を適切に取り入れ、深く学ぼうとする子供

【命を大切にし、仲間と共にやり抜く子供】

- 目標に向かって最後までやり抜く子供
- 進んで運動し、心と体を鍛える子供
- 健康や安全に気を付ける子供

チームたかもり教育プラン

重点事項

- I 「主体的・対話的で深い学び」により確かな学力の育成
- II 社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメントの充実
- III 家庭との協働連携・社会全体で子供を育てる環境づくり



持続可能な社会づくりに関わる学校教育との関連や課題を見つけそれらを解決するために必要な能力・態度を身に付ける

<h3>仙台版防災教育</h3>  <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の教訓を生かして、「自分の命は自分で守る」防災意識を高めさせる。 荒浜小学校震災遺構を活用し、被害の様子を知り、今後自分がやるべきことを考え実行できるようにさせる。 自分が住んでいる高森地区等にどのような災害が発生するのかを考えさせ、家族、地域の方と一緒に命を守るための方法を考えさせる。 	<h3>各教科・総合</h3>   <ul style="list-style-type: none"> 高森スタンダードを活用し基本的な学習に向かう姿勢を整える。 日常生活や社会に目を向け、児童が自ら主体的に考えて課題を設定させる。 基礎的知識・技能の習得及び応用力の育成、学習意欲の向上を図る。 ①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現の探求（PDCA サイクル）ができるような見方・考え方をしてアクティブラーニングの力を身に付けさせる。 	<h3>健やかな体の育成</h3>    <ul style="list-style-type: none"> 運動等の楽しさを体験できる環境づくりを行い、指導の充実を図りながら体力の向上を図る。 日常の健康への関心を高め、保健教育を工夫して行い、児童の望ましい生活習慣の定着を推進する。（メディアコントロール、早寝・早起き・朝ご飯） 仙台市食に関する資料を使って、食育の推進を図る。 きめ細やかな健康観察を実施する。また、学校医と連携した教育相談を充実していく。 	<h3>自分たちでできる特別活動</h3>  <ul style="list-style-type: none"> 生活をより良くしようとするための協力する意識を持たせる。互いのよさを認め合い、生かすような人間関係を形成できるようにさせる。（聞く→考える→伝える） たてわり活動等の活動を通して社会参画に必要な主体的な態度を身につけさせ、仲間とともに活動させる。 友達の良さを探して見つけさせるとともに自己肯定感を高めながら自分の良さも思い描いて自信を持たせる。
<h3>コミュニティ・スクールの推進</h3>   <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域が連携・目標を共有化して地域総ぐるみの教育を実現する。 児童に地域の一員として心を込めて挨拶させ、感謝や奉仕の心を持たせる。 地域の方々を総合的な学習の時間や特別活動等の講師として協力を依頼する。 「しゃべっ亭」を通して、相手の話をしっかり聞き、自分の考えを表現する能力を身に付けさせる。また、臨機応変に対応できる力を身に付けさせる。 	<h3>互いの人格と個性の尊重</h3>    <ul style="list-style-type: none"> 配慮を要する児童への指導に際し、家庭、地域、医療機関等との連携を図り、個別の教育支援計画を作成し、活用する。（SCや関係機関との連携） 障害の種類や程度によって個別の指導計画を作成し適切なきめ細かい指導が行えるように組織的に体制を整え、教職員の共有を図る。（特別支援 Co. を中心としたケース会議の実施） 思いやりをもった人間関係を作ることができるような優しい心を育てる。 いじめ対策担当教諭、不登校対策教諭、養護教諭を中心に全校あげていじめ不登校の未然防止対策の推進を図る。 	<h3>情報活用能力</h3>  <ul style="list-style-type: none"> 情報と情報活用能力を適切に活用するために必要な技術を身に付けさせる。（ICT 支援員の効果的な活用） 読書の充実に向けた取組を進めることで活字に親しむ機会を増やす。 複数の情報を結びつけて意味を見出す力、問題の発見、解決等に向け、適切に活用する力を身に付けさせる。 情報社会に主体的に参画しようとする態度を育てる。GIGA スクール構想を生かした情報活用能力の育成。 	<h3>教職員がやりがいをもつ</h3>  <ul style="list-style-type: none"> 児童の成長を感じ、児童とともに達成感のある教育活動を展開する。 教職員がゆとりをもって、児童と向き合い、話し合うなどして児童理解をする。 研修を重ね、専門性と熱意を持って授業を作り上げ、人間性あふれる教師をめざす。 さらに働き方改革を進め、心身ともに健康でやりがいのある学校を創る。